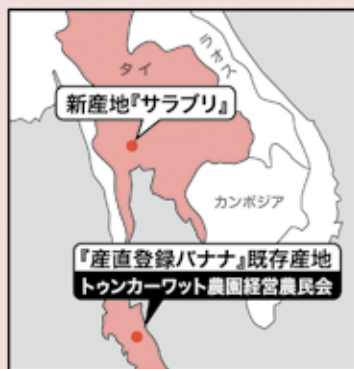


特集 夏の活動報告……P4

よどがわ生協の皆さんに

## 安全なバナナを届けたい

～産直登録バナナの産地を訪問しました～



干ばつの影響で産直登録バナナの生産が減少しています。今年度、よどがわ生協では安定生産に向けて、既存産地への支援と新産地「サラブリ」での株式会社パンフィック・トレード・ジャパン(以下、PTJ)の自社農園支援を進めています。7月19日(土)～23日(水)、干ばつによる大きな被害にあった既存産地と新産地「サラブリ」を訪ね、視察と生産者との交流をしました。

### よどがわ生協からメッセージと支援金を届けました

「産直登録バナナ」既存産地であるトゥンカーワット農園経営農民会(以下、農民会)にて、ソムヌック理事長を中心に意見交換を行いました。農民会は21年前によどがわ生協のバナナ事業に協力してくれた最初の産地です。干ばつによる大きな被害にあい、厳しい状況にあります。農民会が新たな取り組みを検討する中で、よどがわ生協にできる支援があればと考えています。懇談後、よどがわ生協からは、次世代農家育成プロジェクト支援金と組合員からのメッセージを理事長に手渡し激励しました。



▲支援金の贈呈



▲次世代農家育成プロジェクト参加の子どもたち

#### \*次世代農家育成プロジェクトとは…\*

農業離れが加速するタイの若い世代にバナナ栽培技術を継承し、次世代のバナナ農家を育成しています。バナナ1袋の利用につき1円を支援金として176,485円を贈呈しました。(2013年7月4回～2014年7月1回の利用実績)

### 「一からやり直す気持ちで」

トゥンカーワット農民会 ソムヌック理事長

「長期の干ばつにより、生産が減少しています。一番の対策はバナナの株の被覆(バナナの枯葉や肥料を苗の周りにかぶせる)と灌水(水やり)です。管理のよい圃場には価格差を付けるなどして、収穫率を上げていきたい。不作により苗の需要も高まり、近場での調達に難しく価格も跳ね上がっています。生産者が安心できるようにしたいが、財源が少なく厳しい状況です。今、一からやり直す気持ちでなんとか生産を維持し、よどがわ生協の組合員に届けられるようにしたいと思います。」

### 肥沃な大地、新産地「サラブリ」

サラブリは、タイの首都バンコクから北へ110kmにあります。今年、よどがわ生協総代会に出席していただいたリットさんとペーンさんを訪ねました。

リットさんは、6月から無農薬でのバナナの栽培を始めました。圃場は周囲を水に囲まれた肥沃な黒土です。畑の水路には水藻が生え、底の泥は豊かな栄養を含むため、苗の根本にすくいあげておくことで、保湿と腐葉土代わりになります。ペーンさんの畑では、5月初旬に植えた13,600本の苗が腰の高さまで育っており、来年1～2月には出荷できるとのことでした。なお、この地でPTJは自社農園での生産も開始しました。



リットさん夫妻



リットさんの広大な畑には9500本の苗が植わっている。



ペーンさんの畑を船上から視察。水路にはメダカの姿も。



ペーンさん

#### 参加した組合員理事の感想

新産地サラブリの恵まれた環境、無農薬でのバナナ栽培への強い意欲とさまざまな工夫に驚きました。既存産地の困難な条件下での小規模なバナナづくりとは違いがありますが、これからは産地間で苗の調達や情報交換などで協力関係ができれば、安心・安定したバナナ栽培が持続できるのではと思いました。

「安全・安心なバナナが欲しい」という声からタイのバナナ生産者と一緒に始めた「産直登録バナナ」。バナナの安定した生産を行い、今後も安全安心でおいしいバナナをお届けできるように、PTJと共に取り組んでいきますので、「産直登録バナナ」を今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



<http://www.yodogawa.coop/>

よどがわ生協 検索

今月の生協さん 第3支所



吹田地域担当 4月に入協しました。多くの組合員さんに近江 克仁(おうえ かつひと) 信頼していただけようがんばります。



よどがわ市民生活協同組合は環境マネジメントシステムに基づいた取り組みを行っています。